

『森と自然の育ちと学びフォーラム2022』

～複数部署連携で拓く、保育・幼児教育の質の向上、
森林活用推進、移住促進・地方創生～

【開催日時】 2022年2月10日(木) 14:00～17:30

【開催方法】 オンライン会議システム「ZOOM」・「Youtube」

(参加費無料)

Pick up! 先進自治体の首長等が多様な事例を発表! 3つのテーマで深掘り!!
「自然保育推進」・「地域連携」・「人材育成」の仕組みを議論!!



近年、グローバル社会を「生き抜く力」を育むための保育・幼児教育の質の向上や、新たな森林活用の推進、移住促進等の「地方創生」の観点から、「森と自然を活用した保育・幼児教育」への注目が高まっています。

2018年10月に設立された「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」には、120を超える自治体が参画するに至っています。本ネットワークでは、自治体による支援施策のさらなる拡充・発展に向けて、30を超える自治体関係者と学識経験者等の対話を通して、新たに実践的な理論・方法論を構築する「森と自然の育ちと学びラボ」を開催しています。

そこで、その成果を広く共有するとともに、先進自治体の首長等による事例発表や、多様な社会課題解決にも寄与する「森と自然を活用した保育・幼児教育」の可能性を議論する「フォーラム」を開催します。

多くの自治体・園・森林・地域関係者のご参加、お待ちしております。



第1部 都道府県の保育/林務部署が先導する「自然保育」推進の仕組みづくり



登壇者 平井 伸治氏
(鳥取県知事)



登壇者 三日月大造氏
(滋賀県知事)



登壇者 竹内 延彦氏
(前長野県池田町教育長)

事例発表

- ① 県福祉部署が主体となった「自然保育」の推進(鳥取県)
- ② 県林務部署が主体となった「自然保育」の推進(滋賀県)

ディスカッション テーマ

『森と自然を活用した保育・幼児教育』で拓く、Society5.0時代を生き抜く次世代育成と地方創生』

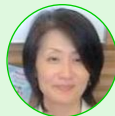
第2部 市町村による“自然保育”の推進に向けた「地域連携」の仕組みづくり



登壇者 太田 寛氏
(安曇野市長)



登壇者 白鳥 孝氏
(伊那市長)



登壇者 山口 美和氏
(上越教育大学大学院)

事例発表

- ① 「自然保育ブランディング保育士」を配置した移住促進・保育者確保(長野県安曇野市)
- ② 保育・林務・企画部署が連携した「自然保育」の推進による郊外の小規模園・学校の存続と移住促進(長野県伊那市)
- ③ 「森と自然の育ちと学びラボ」(地域連携部会)報告

第3部 “自然保育”を推進する保育者等の「人材育成」の仕組みづくり



登壇者 乾 千穂氏
(関市立洞戸保育園長)



登壇者 今井 英里氏
(美濃加茂市立山之上こども園)



登壇者 酒井 真由子氏
(上田女子短期大学)

事例発表

- ① 「全公立園の保育者が参加した「チーム森」結成による保育者育成・環境整備」(岐阜県関市)
- ② 専修学校「岐阜県立森林文化アカデミー」と連携した「里山保育士」の育成(岐阜県美濃加茂市)
- ③ 「森と自然の育ちと学びラボ」(人材育成部会)報告

プログラム

以下の内容で開催します。（一部、変更となる場合もありますが、予めご了承ください）

《第1部》都道府県の保育/林務等が先導する「自然保育」推進の仕組みづくり

(1) 開会挨拶

平井 伸治 氏（鳥取県知事、自治体ネットワーク 2021年度代表）
沖 修司 氏（(公社)国土緑化推進機構 専務理事）

(2) ショートプレゼンテーションⅠ

- ① 都道府県福祉部署が主体となった「自然保育」の推進
平井 伸治氏（鳥取県知事）
- ② 都道府県林務部署が主体となった「自然保育」の推進
三日月 大造 氏（滋賀県知事）

(3) 鼎談Ⅰ 「森と自然を活用した保育・幼児教育」で拓く、
Society5.0時代を生き抜く次世代育成と地方創生」
鳥取県代表者、滋賀県代表者、竹内 延彦 氏（前 長野県池田町教育長）

《第2部》市町村による“自然保育”の推進に向けた「地域連携」の仕組みづくり

(4) ショートプレゼンテーションⅡ

- ① 「自然保育ブランディング保育士」を配置した移住促進・保育者確保
太田 寛 氏（長野県 安曇野市長）
- ② 保育・林務・企画部署が連携した「自然保育」の推進による
郊外の小規模園・学校の存続と移住促進
白鳥 孝 氏（長野県 伊那市長）
- ③ 「森と自然の育ちと学びラボ」（地域連携部会）報告
山口 美和 氏（上越教育大学大学院）

(5) 鼎談Ⅱ 長野県 伊那市代表者・長野県 安曇野市代表者、山口 美和氏

《第3部》“自然保育”を推進する保育者等の「人材育成」の仕組みづくり

(6) ショートプレゼンテーションⅢ

- ① 全公立園の保育者が参加した「チーム森」結成による保育者育成・環境整備
乾 千穂 氏（岐阜県 関市立洞戸保育園 園長）
- ② 専修学校「岐阜県立森林文化アカデミー」と連携した「里山保育士」の育成
今井 英里 氏（岐阜県 美濃加茂市立山之上こども園）
- ③ 「森と自然の育ちと学びラボ」（人材育成部会）報告
酒井 真由子 氏（上田女子短期大学）

(7) 鼎談Ⅲ 乾 千穂 氏、今井 英里 氏、酒井 真由子氏

対象・定員

300名（「森と自然を活用した保育・幼児教育」に関心のある方であればどなたでも。
但し、自治体ネットワーク会員は「ZOOM」、一般は「Youtube」となります）

申込・締切

➤ [申込フォーム](https://forms.office.com/r/D36ZDAHF0H) (https://forms.office.com/r/D36ZDAHF0H) からお申し込み下さい。《締切：2月7日(月)》

《「申込フォーム」が利用できない場合》

以下の項目を、E-mailにて「t-kimata@uedawjc.ac.jp」宛にお送り下さい。

【申込項目】 ①参加者名、②所属組織、③部署・役職名、④住所、⑤TEL、⑥E-mail
⑦属性(自治体・団体、園関係、大学・教育関係、森林・林業関係、自然体験・野外活動関係、その他)

申込先
問合せ先

「森と自然の育ちと学びフォーラム2022」運営事務局

《本企画全般》鳥取県 子育て・人財局 子育て王国課（担当：久永）

TEL：0857-26-7148 E-mail：kosodate@pref.tottori.lg.jp

《申込関係》上田女子短期大学 学術研究所（担当：木保）

TEL：090-2164-8627 E-mail：t-kimata@uedawjc.ac.jp